

リズムのあつた演奏で 喝采を浴びるのが最高！

親子で楽しむ和太鼓サークル「はねつ鼓」は、今年で結成10周年を迎えます。現在会員33名で、調布市文化会館たづくりと都立府中けやきの森学園で、月に2〜3回練習し、深大寺小学校や代々木の和太鼓療育フォーラムなどで定期的なコンサートを行っています。この9月11日には、府中の森芸術劇場ふるさとホールで開催された江戸やっこ祭りに参加しました。

ダンスに鉄道、アニメも好きで多趣味な六反田和貴さん(写真右)。太鼓の魅力は「皆と一緒にタイミングを合わせて叩けることだ」と語ります。「心に響く音を仲間と一緒に生み出す」という口頭でできない経験が、練習の情熱になっているそうです。

「太鼓は厳しいけれど頑張る」と言う廣嶋優さん(写真左)は、発表会でお客さんからブラボーの拍手を貰ったときに嬉しいと話します。太鼓以外では、図書館でジブリの映画を見ることが楽しみ。お母さんの君江さんは、「大勢の人から拍手をもらったり、団結してチームでひとつの音楽を奏でることは子供たちには貴重なことです。また、親子で楽しめるのも魅力です」と語ります。

来年3月25日には、たづくりのくすのきホールで、10周年記念コンサートを開催します。掛け声や踊りを交えながら、一丸となって練習している姿は、なんとも情熱的でパワフルでした。



このページでは障がい者の生活の
1コマをご紹介します。

撮影：中西もと子

※次号「わくわーく 10号」は、2017年3月に発行する予定です。